

SDGsに関して教育現場でできること

TRANSFORMING OUR WORLD

SDGs IN ACTION HINO 



令和4年1月21日 日野第六小学校 松永 式子

「SDGs」

持続可能な開発目標

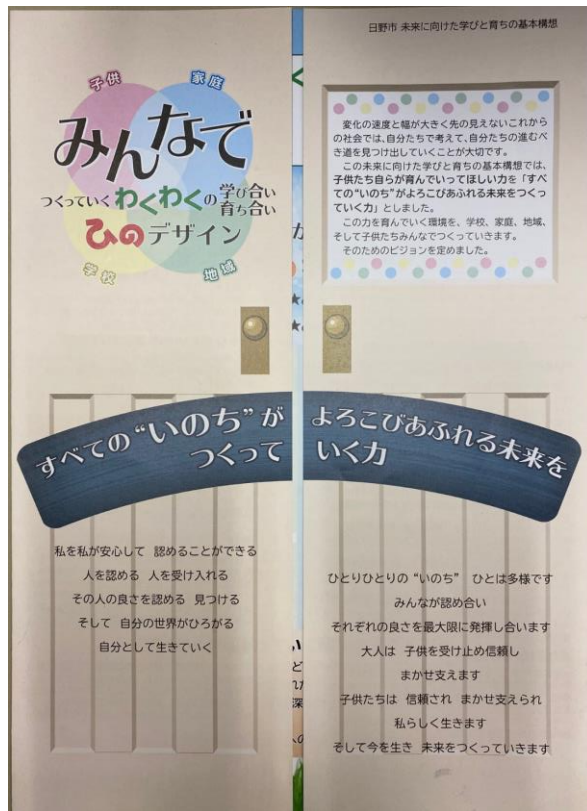


「ESD」

持続可能な開発のための教育



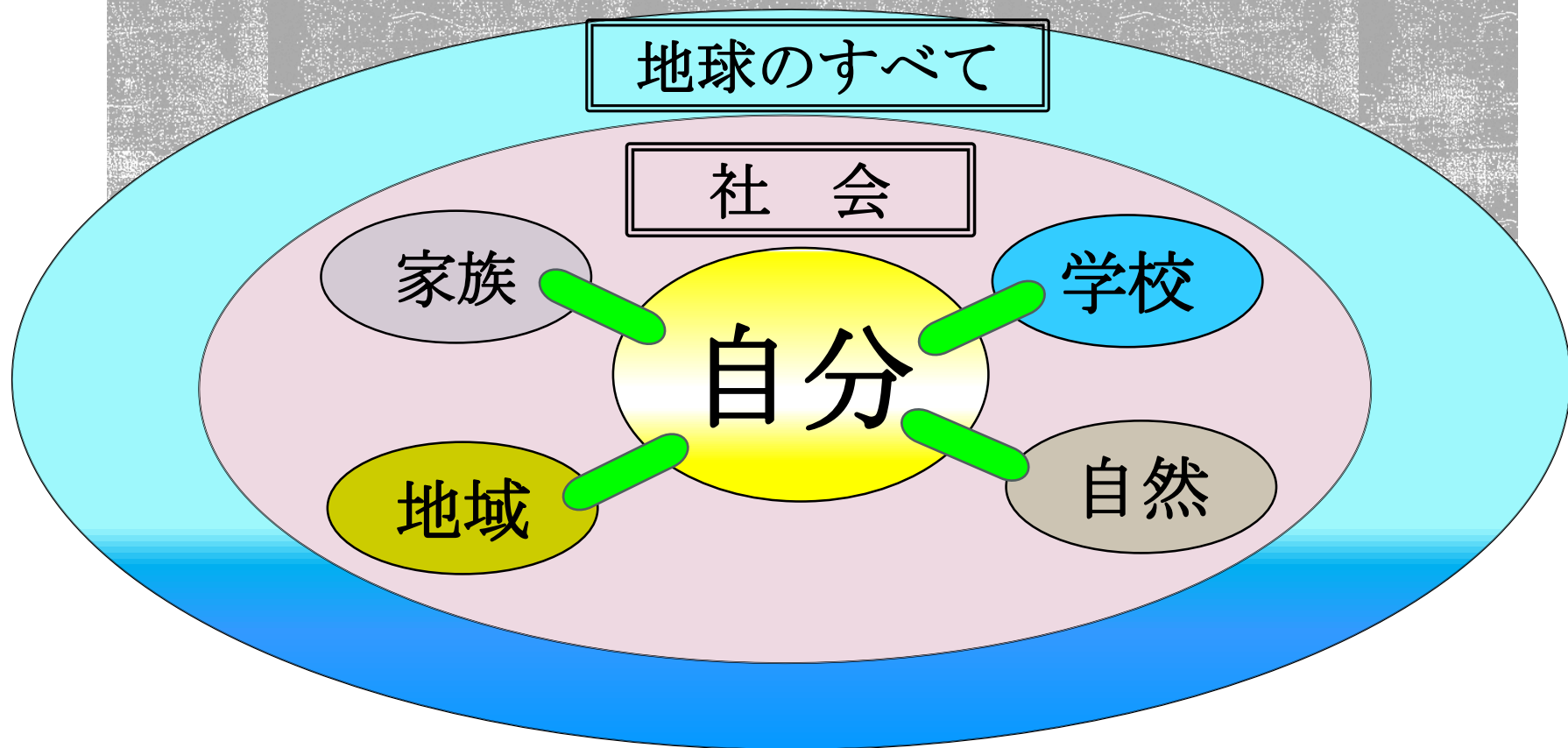
日野市の教育ビジョン 「日野市 未来に向けた学びと育ちの基本構想」



子どもたちが自ら育んでいってほしい力

全ての『いのち』が
喜びあふれる未来を
つくっていく力

全ての『いのち』がつながる



SDGs（持続可能な開発目標）

ESD（持続可能な開発のための教育）

身近なフィールドでの学習

➡主体的な学びの実現

地域の良さを再認識

➡自己肯定感と郷土愛の醸成

「自己」から、環境・経済・社会
について考えを至らせる

➡ESDの推進

「持続可能な社会を担う児童の
課題解決力の育成

第3次日野市学校教育基本構想

（2019年度～）

「すべてのいのちがよろこびあふれる未来をつくっていく力」

学習指導要領全面实施

（2020年度～）

「持続可能な社会の創り手に
必要な資質・能力の育成」

ESDの視点の明確化

持続可能な社会づくりの
構成概念

- I 多様性
- II 相互性
- III 有限性
- IV 公平性
- V 連携性
- VI 責任性

ESDの視点に立った学習指導で
重視する能力・態度

- ① 批判的に考える力
- ② 未来像を予測して計画を立てる力
- ③ 多面的、総合的に考える力
- ④ コミュニケーションを行う力
- ⑤ 他者と協力する態度
- ⑥ つながりを尊重する態度
- ⑦ 進んで参加する態度

学習の系統性 一例

平和・人権

環境

よりよい未来を目指して
わたしたちの環境を守ろう

わたしたちと水

わたしたちの日野

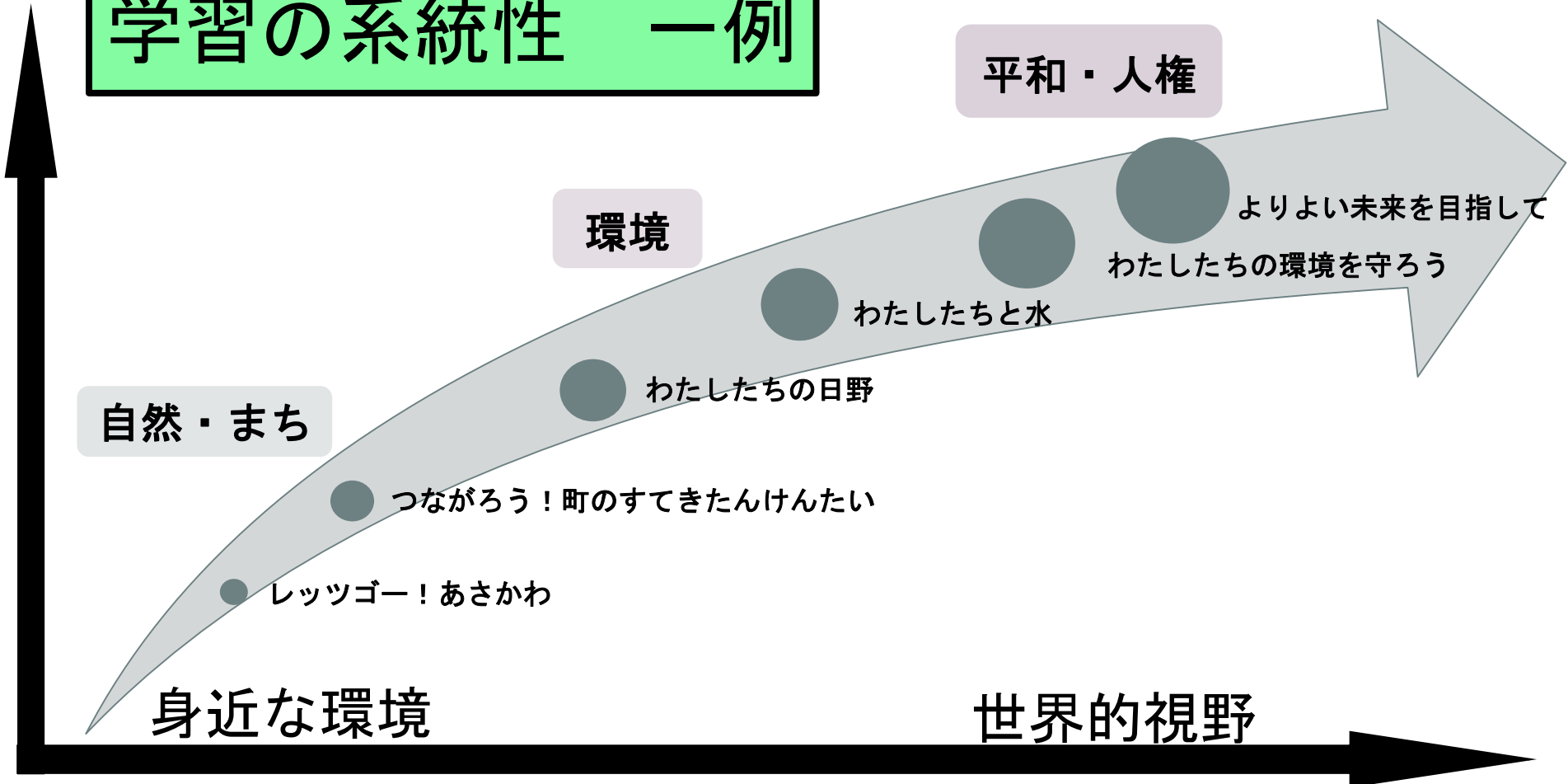
自然・まち

つながろう！町のすてきたんけんたい

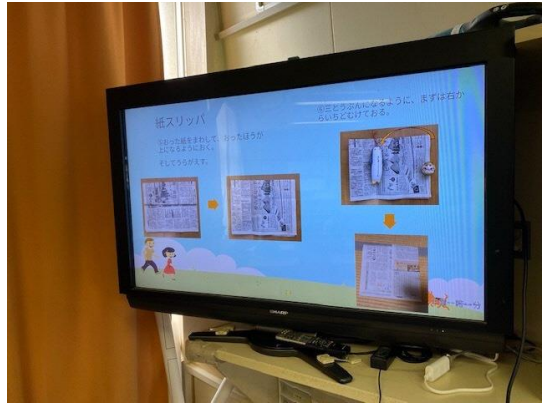
レッツゴー！あさかわ

身近な環境

世界的視野



自分には何ができるか考える



地域人材・外部人材の活用と連携

日野市内の大人に学ぶ

- ・どんな人が
- ・どんな組織が
- ・どのような目的で
- ・どんな活動をしているのか
- ・自分自身はそこから何ができそうか

★外部講師の話聞き、
具体的な課題と解決策を考え、
行動化に向けて動き出す。

思いや考えを発信したい

- 学校の外を見る
- 学校の外に出る
- 学校の外の人と関わる
- 学校の外にアプローチする
- **学校の外を変える**



日野第六小学校の6年生の取り組み

SDGSについて、全校児童に知ってもらいたい

みんなにも環境について考えてほしい



課題の設定



課題の解決へ



図書室の資料を活用



タブレットの画面を見ながら、文章をみんなで見ながら話し合い、作っていく作業

子どもたちの内面は どう変わったのか？

大人は、子どもの変容(物の見方・考え方・行動)を
みとることが一番大切である。

ご清聴ありがとうございました。